

令和5年度「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」  
認知度調査結果

日時	場所
令和6年1月25日(木)～2月8日(木)	イオンモール新潟南 1階スカイコート

【Q1. 「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を知っていますか?】

	10代以下	20～30代	40～50代	60～70代	80代以上	合計
知っているし、内容も理解している(A)	28	21	49	38	8	144
聞いたことはあるが、内容はよく知らない(B)	40	55	51	31	9	186
知らない(C)	178	159	107	81	53	578
合計	246	235	207	150	70	908

条例認知度：(A+B)÷(A+B+C)	27.6	32.3	48.3	46.0	24.3	36.3%
						※R2年度：28.7%
						※R3年度：44.0%
						※R4年度：39.0%

【Q2. どのようにして「障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を知りましたか?】

	10代以下	20～30代	40～50代	60～70代	80代以上	合計
市報や区役所だより	8	5	5	9	0	27
市のホームページ	1	3	2	4	1	11
テレビ・ラジオ・新聞	8	7	1	8	2	26
チラシ	5	3	5	3	1	17
会社や組織の研修会	3	5	12	6	1	27
その他	27	24	24	14	0	89
未回答	16	29	51	25	12	133
合計	68	76	100	69	17	330

(Q2. 世代別割合)

	10代以下	20～30代	40～50代	60～70代	80代以上	合計
市報や区役所だより	11.8%	6.6%	5.0%	13.0%	0.0%	8.2%
市のホームページ	1.5%	3.9%	2.0%	5.8%	5.9%	3.3%
テレビ・ラジオ・新聞	11.8%	9.2%	1.0%	11.6%	11.8%	7.9%
チラシ	7.4%	3.9%	5.0%	4.3%	5.9%	5.2%
会社や組織の研修会	4.4%	6.6%	12.0%	8.7%	5.9%	8.2%
その他	39.7%	31.6%	24.0%	20.3%	0.0%	27.0%
未回答	23.5%	38.2%	51.0%	36.2%	70.6%	40.3%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【まとめ】

- ・新型コロナウイルスが感染症法の第5類に移行されたことから、調査は通常どおり来場者に声掛けする形式で実施。
- ・イベント期間中の休日には、まちなかほっとショップにも出店いただき、障がいのある方の授産品の販売を同時に実施することで、集客と障がいのある方の活動について知ってもらえる機会を提供できた。
- ・積極的な声掛けやイベントを長期で実施したこともあり、回答数は昨年度の572件に対し908件であった。また、同時開催の文化政策課による「障がい者アート展」と一体的に実施したことも回答数の増加に寄与してきたと考える。
- ・年代別では10代以下が27.6%、20代～30代が32.3%と、回答数の少なかった80代以上を除けば、他の年代に比べ低いため、来年度以降も学生を対象にしたワークショップ等の実施により、共生条例を知る機会を増やし若年層の認知度向上を図る必要がある。

